

DTM 作曲講座「スマホやタブレットを使って、歌を作ってみよう！」
(第5回)

開催日：2024年12月15日
@アクトシティ浜松研修交流センター

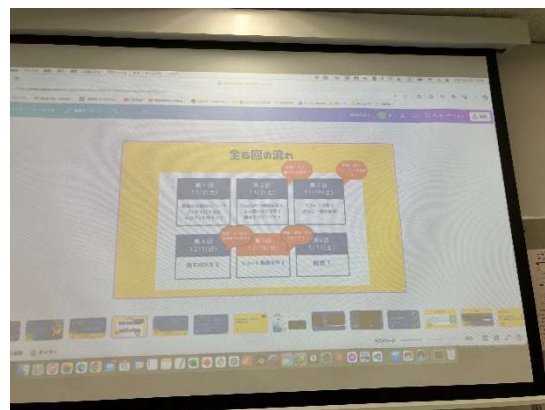
DTM 作曲講座「スマホやタブレットを使って、自分の歌を作ってみよう！」の第5回を開催しました。ワークショップの様子をレポートでお届けします。

このワークショップは、講師のジョン先生が主導し、参加者が「自分の歌」を制作し、表現を通じて人に気持ちを伝える方法を学ぶことが目的です。第5回では、「総仕上げ」として、楽曲とショート動画を完成させる回となりました。

■前回までの振り返り

前回の振り返りとして、楽曲の基本構成や作曲方法、ショート動画制作のノウハウを学びました。主なポイントは以下のとおりです。

1. 自己紹介フレーズ
冒頭に「大学生がセンスだけで作った曲」など、視聴者の関心を引くフレーズを入れる。
2. 制作過程の記録
制作ステップを画面収録し、視覚的に見せることで興味を引く。
3. テキストと音声読み上げ機能
説明テキストや音声読み上げで、分かりやすい動画作りを心がける。
4. 素材の多様化
自室やペットの映像を入れることで、個性を表現する工夫を取り入れる。



■総仕上げ！

○楽曲の完成と最終調整

楽曲制作の最終段階では、パート間のスムーズなつながりと聴き手を引き込むための演出として、トランジションエフェクトが効果的に活用されました。特に「ライザー」「インパクト」「リバースエフェクト」といった音響効果を用いることで、楽曲にメリハリや臨場感を加える手法が紹介されました。

・主なエフェクトとその役割

ライザー：

音が徐々に上昇し、次のパートへの期待感を高めます。

インパクト：

重要な部分で印象的な効果音を挿入し、強調効果を出します。

リバースエフェクト：

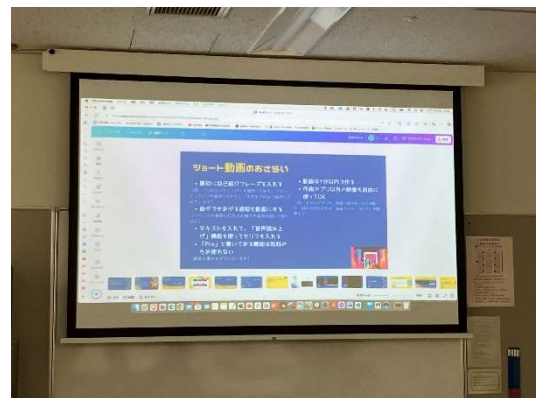
音を逆再生することで、独特な演出やアクセントを加えます。

これらのエフェクトは「BandLab」を使用して実践的に適用されました。デモンストレーションを通して、エフェクトの検索方法や組み込み方が示され、参加者は自ら操作することで理解を深めました。エフェクトの活用により、楽曲全体の構成が強化され、聴き手の興味を引く工夫が施されました。



○ショート動画の最終仕上げ

ショート動画の制作においては、視聴者の関心を維持するためにシンプルで無駄のない構成が重要視されました。具体的には、動画を1分以内にまとめることで、簡潔かつ効果的な内容に仕上げることができます。また、CapCutなどの動画編集アプリを活用し、無料のエフェクトでコストを抑える方法が推奨されました。これにより、参加者は短時間で情報を伝えるスキルを学びました。



■次回ついに最終発表！

今回は、いよいよ発表会！完成した楽曲とショート動画を組み合わせ、作品として発表します。コンセプトやターゲットを明確にし、楽曲や映像の魅力が最大限に伝わるよう工夫を重ねながら、「自分の歌」を披露します。楽しみです！

